



学校給食への地域産食材使用拡大に向け年末までに提言

文教経済常任委員会では8日、学校給食への地域産食材の積極的導入に向けての検討が行われ、年末までに提言をまとめることで合意しました。

給食の地域産食材の活用では、①献立から必要とされる食材品目と必要量を十分な期間を持って生産者側に示す、②生産者側は計画性を持って供給体制を整備する、そ

して③そのコーディネート役をしっかりと行える組織をつくっていく、といったことが必要です。

委員会では、上越市の学校給食でこの関連性が全くできていないという実態が明らかになりました。提言では、ここを突破するにはどうしたらいいかを中心にまとめていくことになりそうです。



コンピューター制御のラック倉庫に驚嘆の声
三和区本郷にできた「コメ・大豆低温貯蔵施設」(写真)を文教経済常任委員会が4日に視察しました。コンピューターですべて制御され、パレットに積み重ねたコメをロボットがすごいスピードで指定されたラックに積み込み整理していく様子を見て、驚きの声が上がっていました。

中山間地域集落実態調査 報告書まとまる

上越市は6月に行った調査の報告書をまとめました。今回の調査は、集落の生活組織、生産組織の状況、集落のみなさんが不安に感じていることなど新たな視点も盛り込み調査してあります。

橋爪議員は、2006年調査と比較しやすいよう工夫をすることなどいくつかの注文をだしていましたが、報告書にはそれらの注文が反映されました。

2日、3日と大きな揺れがありました。中越沖地震以来の揺れ、しかも短期間に何度も激しく揺れたこともあって市民の不安は高まりました。日本共産党議員団は、災害警戒対策本部(写真は木田庁舎の本部)が設置される前から被害状況の確認などで動きました。市内では学校のガラスが割れるなど被害が発生しましたが、人的な被害はありませんでした。日本共産党議員団は、警戒対策本部が設置されたにもかかわらず木田庁舎の正面玄関が開いていなかったため開けるよう求めました。

人的被害なしでも怖かった

いろいろありましたが……

1日は直江津学びの交流館の竣工式。村山市長は挨拶の中で、「いろいろあったが、私たちの財産として育てていきたい。図書館で会おうね、こんな言葉が交わせたらいいい」とのべていました。

完成したからには学習の場としてしっかり生かしていきたいものです。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.253 2010年10月17日

- 連絡先
- | | | |
|--------|----------|----------|
| 橋爪 法一 | 548-3628 | (吉川区代石) |
| 樋口 良子 | 544-6802 | (中門前3) |
| 上野 公悦 | 530-2203 | (頸城区中柳町) |
| 平良木 哲也 | 525-9096 | (上中田) |

チラシ中央の写真はシラネセンキュウという名の野の花です。大島区で撮影。